

今日、京響?

Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

第581回定期演奏会

日本とハンガリー、民謡の響宴
バケッティのモーツァルト

The 581st Subscription Concert of
the Kyoto Symphony Orchestra

小山清茂:管弦楽のための「木挽歌」
モーツァルト:ピアノ協奏曲第17番ト長調K.453
コダーイ:マロシュセーク舞曲
コダーイ:組曲「ハーリ・ヤーノシュ」

Kiyoshige Koyama: "Kobiki-uta (Woodcutters Song)"
for orchestra

Mozart: Concert for piano and orchestra No.17
in G major K.453

Kodály: Dances of Marosszék

Kodály: "Háry János" suite



指揮 外山 雄三
Conductor: Yuzo TOYAMA

ピアノ アンドレア・バケッティ
Piano: Andrea BACCHETTI

ツィンバロン 斉藤 浩
Cymbalom: Hiroshi SAITO



2014
7/18 金
午後7時開演 (午後6時開場)

京都コンサートホール
Friday, July 18, 2014 / 7:00PM
Kyoto Concert Hall
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後6時40分ごろから)は
指揮者による「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて
開催します。

入場料
S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 学生券 & 後半券 S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2014年7月11日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約) 京都コンサートホール... (075)711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
チケットぴあ... (0570)02-9999 Pコード216-513
ローソンチケット... (0570)000-407 Lコード57274

お問い合わせ 京都市交響楽団... (075)711-3110 http://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール... (075)711-3231
http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛:ローム株式会社 協力:株式会社ドルチェ楽器 後援:(株)エフエム京都 発行:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団

第581回定期演奏会

The 581st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

今年生誕100年を迎えた小山清茂 (1914~2009) の日本民謡を素材にした「木挽歌」と、ハンガリー民謡を用いたコダーイの「ハーリ・ヤーノシュ」を、自らも民謡を用いた作品を数多く手がける外山がどう料理するかが楽しみ。モーツァルト絶頂期のピアノ協奏曲を弾くのはイタリアのアンドレア・バケッティ。純粋無垢なモーツァルトにご期待ください。



©三浦興一

指揮 ▶ 外山 雄三 Conductor : Yuzo TOYAMA

1931年東京生まれ。東京音楽学校 (現在の東京芸術大学) で作曲を学び、在学中の1951年「クラリネット、ファゴット、ピアノのための<三つの性格的断片>」で第20回音楽コンクールに入賞。1952年卒業と同時にNHK交響楽団に打楽器練習員として入団。1954年には指揮研究員となり、1956年9月にNHK交響楽団を指揮してデビュー、以後各オーケストラに数多く客演を開始。1958年から1960年にかけてウィーンに留学。1960年NHK交響楽団の世界一周演奏旅行に同行し、ヨーロッパ各地12ヶ国で演奏。指揮者としてばかりでなく自作の「管弦楽のためのラプソディー」によって作曲家としてもその名を広めた。その後1964年、1966年、1979年のNHK交響楽団海外公演を指揮、1979年にはNHK交響楽団正指揮者に就任した。1985年にはニューヨークで開催された国連40周年記念コンサートにNHK交響楽団とともに出演、全世界に放送された。国内では大阪フィル、京響、名古屋フィル、神奈川フィル、仙台フィルの要職を歴任。海外でも日本を代表する指揮者・作曲家として、たびたびオーケストラや国際コンクールなどに招かれている。オペラ指揮の分野でも、その緻密な音楽作りが高く評価されており、1999年三善晃作曲「支倉常長<遠い帆>」、2006年一柳慧作曲「愛の白夜」各初演での圧倒的な名演が記憶に新しい。これまでに作曲した作品はオペラ、バレエ音楽、ミュージカル、劇音楽、交響曲、協奏曲、管弦楽曲、室内楽曲、歌曲、合唱曲など多岐にわたる。1963年第12回尾高賞、1981年第1回有馬賞、1983年第14回サントリー音楽賞、1999年文部大臣表彰、2000年第48回尾高賞、2010年度日本放送協会放送文化賞を受賞。現在、NHK交響楽団正指揮者、スワウン・フィルハーモニック管弦楽団名誉指揮者 (韓国) を務めている。愛知県立芸術大学客員教授。http://www.yuzo-toyama.com/

ピアノ ▶ アンドレア・バケッティ Piano : Andrea BACCETTI

2012年夏、札幌で行われたPMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル) に指揮者ファビオ・ルイジの強い推薦で登場したアンドレア・バケッティは、PMFオーケストラとモーツァルト作曲ピアノ協奏曲第17番を、教授陣とモーツァルト作曲ピアノと木管のための五重奏曲、モーツァルト作曲ピアノ四重奏曲第2番を演奏し「バケッティは天才のピアニストだ」と絶賛を博す。イタリア リヴィエラ海岸、レッコに生まれる。幼少期から、カラヤン、ホルショフスキ、ペリオといった芸術家から薫陶を受ける。特にカラヤン、ペリオとの関係は特筆すべきものがあり、バケッティの才能に感銘を受けたカラヤンがベルリン・フィルとのリハーサルに招き入れたほどである。また、ペリオとは彼が亡くなる2003年まで緊密な関係を持ち、ペリオ監修のもと録音を行った。ザルツブルクのモーツァルト音楽大学、パリ国立高等音楽院、ジェノヴァのニコロ・パガニーニ音楽院で学び、イモラ国際ピアノ・アカデミーでは、フランコ・スカラに師事する。11歳でクラウディオ・シモーネ指揮、イ・ソリスティ・ヴェネティとミラノで共演し、デビュー。それ以降、ヨーロッパの主要なフェスティバルに参加し、世界各地へ招待されるなど輝かしい経歴をスタートさせた。1996年にプレミオ・ヴェネツィア・コンクールで優勝、2006年ウーブン・ミケーレ国際ピアノ・コンクールでも入賞し、受賞歴も数多い。これまでに、パリのサル・プレイエルやサル・ガヴォー、ザルツブルク音楽祭、ベルリン・コンツェルトハウス、ゲヴァントハウス (ライプツィヒ) などでもリサイタルを行う。録音も数多く、バッハのインヴェンションとシンフォニアのCD (DYNAMIC社) は、2009年9月のBBCミュージック・マガジンで「Discs of the Month (月間最優秀賞)」に選ばれ、若手ピアニストにとって名誉な評価を得た。



ツインバロン ▶ 斉藤 浩 Cimbalom : Hiroshi SAITO

アジア人で初めてツインバロン・ソリストディプロマを授与された打楽器奏者。大阪音楽大学作曲学科卒業。2002年よりハンガリー政府給費留学生としてブダペストに留学。2003年、エチュード音楽院ツインバロン科首席卒業、ディプロマ取得。その後、ハンガリー国立リスト音楽院を経て、2004年、特別推薦によりスロバキア国立パンスカピストリツァ芸術アカデミーに編入。2006年、同校首席卒業。2004年、パラッシャジャルマート国際コンクール第1位。これまでにツインバロンを世界ツインバロン協会会長ヘレンチャール・ヴィクトリア、またサカーイ・アーグネシュ、セヴェレーニ・イロナ各氏に師事している。2003年、2004年にはブダペストにおいてELTEコンサートオーケストラと共演。2006年3月スロバキアデビューリサイタル、5月にはソリストとして、スロバキア国立パンスカピストリツァオペラハウス管弦楽団と共演し、それらの模様はマジャールラジオ、スロバキア国営放送、また中国CCTVなどで放送された。帰国後、サントリーホールサマーフェスティバルをはじめ、各地のオーケストラと共演。ソロリサイタルもハンガリー国内だけでなく日本各地でも開催し、好評を得ている。西村朗氏によって書かれた「ツインバロンのための伝説曲」を2011年4月、名古屋電気文化会館でのリサイタルにて世界初演。このリサイタルはサントリー芸術財団の推薦コンサートに選ばれている。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月、第12代常任指揮者に広上淳一が就任、2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。録音では、広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CD第1弾を2010年11月、第2弾を2012年2月に発売し、2013年9月には第3弾を発売。2016年の創立60周年という節目に向けて、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。



2014 5/24(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2014 6/20(金)から発売!

第582回定期演奏会

～マリアの祈り～ラターのマニフィカート

日時: 2014年8月10日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: エドウィン・アウトウォーター

独唱: 森 麻季 (ソプラノ)

合唱: 京響コーラス

曲目: フォーレ: 組曲「ペレアスとメリザンド」op.80

モーツァルト: 交響曲第35番二長調「ハフナー」K.385

ラター: マニフィカート



©Yuji Hori

入場料 S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

第583回定期演奏会

鮮烈なリズムと色彩、ペトルーシュカ!
& 川久保賜紀 郷愁のチャイコフスキー

日時: 2014年9月27日(土) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ミシエル・タバシュニク

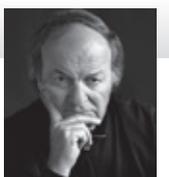
独奏: 川久保 賜紀 (ヴァイオリン)

曲目: プラームス: 悲劇的序曲op.81

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲二長調op.35

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「ペトルーシュカ」

(1911年版) (ピアノ: 野田 清隆)



©Yuji Hori

入場料 S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)